

早稲田の杜

Vol. 38

2020



～ 2019年度の講座より

ギリシア悲劇と戦争

松永 美穂先生

～ 2019年度の講座より

先人たちに学ぶ やさしい俳句の作り方

高柳 克弘先生



目次

02

「知の開拓」

講師インタビュー 加藤 諒三先生
受講生インタビュー 戸村 順子さん

04

ワセモリギャラリー

05

単位・修了・紺碧賞のご案内
修了生・紺碧賞受賞者のメッセージ

06

サタデーレクチャー

～早稲田の杜の教養シリーズ～

08

2019年度はじめまして講座
インフォメーション



EXT

早稲田大学
エクステンションセンター

心を理解することで、現代を生き抜く力を身につける

加藤先生は、心、生き方など人間の根源的なテーマから、親子関係、いじめ、働き方、ハラスメントなどの今日的な社会問題まで、数多くの著書を執筆。またラジオ番組『テレフォン人生相談』（ニッポン放送系）のパーソナリティを40年以上務めており、おだやかな語り口と、ときに厳しく核心を突いて相談者を諭す様子を聞いたことがある人も少なくないでしょう。

ラジオ番組に寄せられる相談は、時代を映す鏡のようなもの。「現代は、生きづらさや困難を抱えている人が多いと感じますね」と、加藤先生は話します。そんな背

景を受け、加藤先生が講座で取り上げるのは、「今、社会で起こっているさまざまな事実・事象を心理的な側面からとらえること」。表面化している出来事・問題に目を向けるだけではなく、背後にある人の心を正しく理解することで解決へと至る道のりを考えることです。「心」は、すべての人にとって身近なテーマといえますが、「多くの人は『自分は人の心をわかっている』と思っ

ているようですが、それは錯覚。実のところ、自分の心さえまったく理解できていないのです」と加藤先生は話します。

そこで講座では、新聞記事や、ときにはラジオ番組の相談内容も取り上げながら、問題の背後にどんな心理が隠されているのかを丁寧にレクチャーしていきます。受講にあたっては春期と秋期を継続することを条件に定めていますが、それも「人の心を体系的に学び、正しく理解してほしい」という加藤先生の強い思いがあるからです。

そんな加藤先生の講座を受講する人たちも、学びへの意識が非常に高いといいます。社会問題に関心をもつ人や、なかには自身や身の回りで心の問題を抱えているという人もいます。講義は白熱し、すべての人が集中し、加藤先生の言葉をひと

教える人

加藤 諦三 先生

（かとう たいぞう） 東京大学教養学部教養学科卒業、同大学院社会学研究科修士課程修了。東京都青少年問題協議会副会長、15年歴任。09年東京都功労者表彰。16年瑞宝中級章受章。現在、早稲田大学名誉教授、ハーバード大学ライシヤワー研究所客員研究員、日本精神衛生学会顧問、社会心理学に関する著書多数。ニッポン放送系ラジオ番組「テレフォン人生相談」に出演中。

担当講座

「心の健康と性格」
「恥ずかしがり屋の性格とレジリエンス」
「現代と心の病」
「人間であるにも拘わらず」

開拓 ちのかいたく

加藤先生の 学びの提言

著・訳書紹介

『どんなことから立ち直れる人 逆境をはね返す力「レジリエンス」の獲得法』（PHP研究所）
レジリエンスとは、人生の挫折に対処する能力。本書ではこのレジリエンスを、実例を通して理解することで、生きづらさを抱えるすべての人が「自ら幸せを得る力」を取り戻すための書である。

『無理しないほうが愛される』（三笠書房）
人間というのは、無理をしないで素直な気持ちでいると、その人が気づいていない「魅力」が自然と表われるものである。「自己肯定感」を取り戻すシンプルで具体的な方法が記載された1冊。



知の



戸村 順子さん

学 ぶ人

2019年度 受講講座

「心の健康と性格」
「恥ずかしがり屋の性格とレジリエンス」

戸村さんの 学びの履歴書

受講科目

- 2019年度 ●恥ずかしがり屋の性格とレジリエンス
- 心の健康と性格
- 2018年度 ●心の健康と体の健康 ●心の健康と性格
- 2015年度 ●ストレスの時代
- 2014年度 ●人間であるにも拘わらず
- 2013年度 ●神経症とコミュニケーション
- 2012年度 ●現代と心の病
- 2011年度 ●パーソナリティ論
- 記念式典【早稲田大学エクステンションセンター
創立30周年・八丁堀校開設10周年】
- 2010年度 ●自分と向き合う心理学

大学時代に社会心理学を専攻していたという戸村さん。人の心理についてはすでに知識をお持ちですが、「加藤先生の講座は、今の自分にとって発見や新しい気づきがたくさんあります」と話します。

戸村さんが加藤先生の講座に出合ったのは2010年。4人のお子さんの子育てが一段落したところ、「『自分と向き合う心理学』という講座名に惹かれて」受講したのがきっかけでした。『自分と向き合う心理学』は、加藤先生の講座のなかでも入門編的な位置づけの講座です。「そこで、自分のなかに『意識』と『無意識』という2つの側面が

あることを学びました。そして自分と向き合い無意識を深掘りしていく過程で、それまで私の中でモヤモヤしていたものが「ああ、無意識にこう思っていたからモヤモヤしたのか」と明確に言語化され、心の中が整理されていきました」。

以降も、『パーソナリティ論』『神経症とコミュニケーション』などの加藤先生の講座を受講し、学びを発展させていった戸村さん。なかでも特に印象に残っているのは、コミュニケーションの大切さだといいます。「2019年春期に受講した『恥ずかしがり屋の性格とレジリエンス』では、恥ず

かしがり屋という性格にも、子どもの頃のコミュニケーション不足が背後に隠れているという話を伺い、自分の子育てを振り返る機会になりました」という気づきは、育児を経験した今の戸村さんだからこそ得られたものでしょう。戸村さん自身はすでに子育てを卒業しましたが、現在、乳幼児の育児に奮闘する娘さんに、講座で学んだことをお話しすることもあるそうです。

これまで約10年にわたり加藤先生の講座を受講し続けている戸村さんですが、「もっともっと加藤先生のお話を聞きたい。次はどんなお話が聞けるんだろうと、毎回楽し

みにしています」と話します。そんな戸村さんについて、加藤先生は「とても熱心な受講生ですね。戸村さんは長年、私の講座でまとめ役を担ってくれているんです。懇親会の幹事をしてくれたり、名簿を作ってくれたり。おかげでみんながひとつにまとまり、非常に質の高い講義ができます」。

戸村さんは「今後は、加藤先生に学んだことを何かに活かしたいという思いが芽生え始めています。今までの自分の経験をもとに、子育て支援など社会の役に立ちたいです」と話します。新しい目標を見つけた戸村さんの真摯な表情が印象的でした。

10年受講していても、もっと加藤先生のお話を聞きたい

受講生の作品をご紹介

ワセモリ ギヤラリー

受講生の作品を紹介します。

今回は、早稲田校「水彩ステップアップ講座」「水彩自由画講座」「出口雄大先生」、「風景の詩講座」(南口清二先生)、中野校「西洋書道カリグラフィ教室」(阿部久代先生)、「基礎からのエッセイ教室」(花井正和先生)の講座を受講された方々の作品を取り上げました。

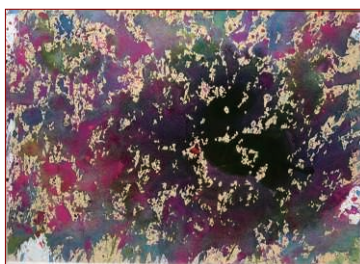
「水彩ステップアップ講座」「水彩自由画講座」(早稲田校)



「パンとくだもの2019」
日野佐和子さん
(2017年入会)



「追憶」
山下 徳子さん
(2005年入会)

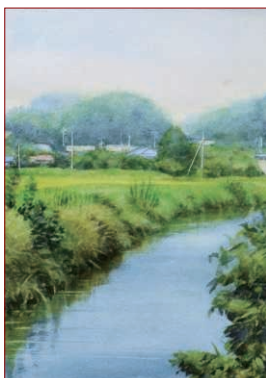


「Homage to Jackson」
辻本 紘一さん
(2003年入会)

「西洋書道
カリグラフィ教室」(中野校)



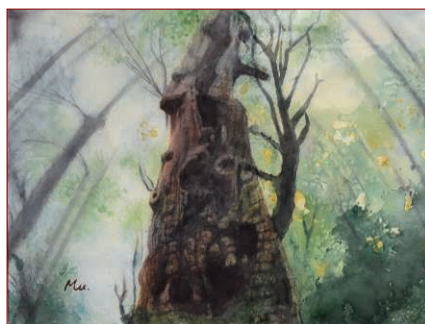
「風景の詩講座」(早稲田校)



「里山」
森田 延子さん(2004年入会)



「Y字路のバブ」
茂又 好文さん(2005年入会)



「幻の屋久杉」
川合 睦子さん(2017年入会)

(公社)日本看護協会主催 第9回「忘れられない看護エピソード」

一般部門 優秀賞「リレー日記」

今野千保さん(2018年入会)

97歳まで、毎日、料理やレース編みを楽しんでいた母。突然、ぐったりして、緊急入院。心不全が悪化していた。

唯一の同居人である、私。ほぼ毎週、山形への出張が入る。早朝、病院に寄り、後ろ髪を引かれながら出発。3日目の夜、東京に戻り病院に直行。不在中の容態を、知りたい。心配で、不安で、夜勤の看護師さんを質問攻め。勤務交代したばかりで情報は限られてしまう。仕事を辞めようかと、思い悩んだ。しばらくして、20代の若い看護師さんから、救いの提案。「毎日、様子をメモしましょうか? 2、3行くらいしか書けませんけど」。ありがたくて、涙が出た。さっそく、昼夜勤ナーズたちによる、リレー日記が始まる。病院に到着するやいなや、チェストの引き出しを開けた。小さなメモ用紙。難聴の母との会話用に、持参したものだ。丁寧な丸っこい文字が、目に飛び込んでくる。

「昨夜はお薬を飲みませんでした。オムツ交換時には、腰上げを協力してくれます」(Y)

「今日はお熱が出ましたが、昼はヨーグルト2口、高カカリ飲料1本、飲みました。猫の写真集を見て、お話ししました」(S)

私も、毎回、おれを書いた。心が救済されていく。母は、戦時中、従軍看護婦だった。「あら、大先輩ね」と言われ、はにかんでいたのは、つい先日。血流が悪く、足の指が1本、壊死。切断手術後、目を閉じている時間が増えた。

ある日、Kさんが、病室にいた。「夜勤明け。帰宅前にお顔が見たくて。いつも笑顔に、パワーをいただいていたました」。眠っている母に頬を寄せながら、言う。

21人もの天使たちが、約2カ月間綴った、リレー日記。2年半たった今でも、温かい気持ちで、沁みる。「大先輩」も、最期に、心からの感謝を、伝えたかったに違いない。

単位

修了

紺碧賞



単位

オープンカレッジの講座には独自の単位が設定されています。(90分授業×5回＝7.5時間で1単位)講座では、出席カードにより出欠を確認します。全授業回数の2/3以上の出席をもって所定の単位取得となります。(ビクターの方を除く。)

目指せ！修了生

76単位を取得されるとオープンカレッジ修了となり、オープンカレッジ修了証書・紺碧賞授与式にて「修了証書」を授与します。修了後は終身会員となり、以後の会員更新料が不要となります。他、早稲田大学の「推薦校友」に推薦可能となります。また、修了生の親睦組織「稲修会」にもご入会いただけます。

推薦校友とは

早稲田大学の卒業生・教職員校友・推薦校友・早稲田大学名誉博士は「校友」と呼ばれます。推薦校友は、早稲田大学校友として推薦される要件を満たし、早稲田大学の同窓会組織「早稲田大学校友会」に承認された方を指します。「早稲田大学校友会」の正会員となります。

憧れの紺碧賞

さらに取得単位が150単位となりますと「オープンカレッジ紺碧賞」を授与します。紺碧賞はオープンカレッジの最高峰です！

紺碧賞メッセージ

「好奇心が学びの糧」

山口 薫さん(1999年入会)



エクステンションセンター最初の講座は、岩田孝先生の「英語で読む東洋思想」でした。原典から仏教を理解するという教えに感銘を受け、続けて受講したかったのですが、当時、仕事上の必要から「時事英語」を選択し、及川裕子先生から世界の動静を感じることの大切さを学びました。

4年前より仏教の勉強を再開し、岩田先生の講義に復帰、吉村誠先生から唯識思想の難しさ、村松哲文先生から仏教美術の奥深さを学び、齋藤直樹先生の講座ではサンスクリットで仏典に触れ、今や、仏教にとっぷりつかっています。

今まで長い間学び続けられたのは「共に学んで共に語る」この雰囲気及早稲田大学オープンカレッジに存在しているからです。これからも学友とともに学んでいきます。

紺碧賞メッセージ

「好きこそ上手は？」

石本 礼二さん(2011年入会)



技術屋生活を終え、早稲田の修士課程を2年間聴講の後、修士入学に挑戦した2次試験の面接で、先生から「大学院とは、自分で決めたテーマを深く研究する所ですが、あなたは対象が広過ぎる」と指摘され、紹介されたのがエクステンションセンターでした。その後9年経過した今でも、真に適切なアドバイスを頂いたと感謝しています。

何かを学ぶと、何が分かっているかを感じさせられます。中世から始めた歴史は縄文になり、さらにチバニアンになり。活字で読んだ古典は手書き古文書になり。

早稲田大学内外の強力な教授陣と充実した講座内容、真摯に学ぶ仲間達、楽しい研修旅行。日々新たななり。健康を恵んでくれた両親と、八百万の神様仏様に感謝する毎日です。

修了メッセージ

「感性と想像力を大切に」

太田 順久さん(2014年入会)



定年が近づき始めた頃、既に当カレッジの会員だった友人から講座案内の冊子を借りると、面白そうな講座が目白押しでした。早速昔から興味があった西洋史と西洋美術史を、次から次へと受講している内に、イタリアに行つて自分の目で直接確かめたくなり、イタリア語も加わって現在に至っています。同じジャンルでも多くの先生から学ぶことで、異なる視点を持てるような気がします。そして2019年には、諸川春樹先生のご指導の下で「近世絵画の扉を開いた芸術家たち」という論文に挑戦し、時代・社会の変遷と図像との関連を検証してみました。その結果、絵画は常に時代を映し出す鏡であると確認出来ました。そして、今は次の研究テーマ探しです。

■ 2019年5月～11月 実施講演会一覧

講座名	講演者	会場	開催日
ラグビーワールドカップ2019 日本大会の展望	清宮 克幸(早稲田大学ラグビー蹴球部元監督、ヤマハ発動機ジュビロ前監督) 村上 晃一(ラグビージャーナリスト)	早稲田校	2019年5月18日(土) 13:00～14:30
聴いて味わう『源氏物語』	林 望(作家・国文学者)	早稲田校	2019年6月1日(土) 13:00～14:30
明智光秀の謎に迫る	小和田 哲男(静岡大学名誉教授)	八丁堀校	2019年7月27日(土) 10:30～12:00
ポップ・ミュージックの革新 ～作曲家としてのマイケル・ジャクソン～	西寺 郷太(音楽プロデューサー、作詞家・作曲家、文筆家)	早稲田校	2019年8月24日(土) 13:00～14:30
国体論 ― 国体と日本近代	白井 聡(京都精華大学講師)	中野校	2019年8月31日(土) 14:00～15:30
アマゾンの戦略 ～アマゾン & GAFAのテクノロジーと組織を読む	成毛 眞(元マイクロソフト・ジャパン代表取締役社長)	中野校	2019年10月19日(土) 13:00～14:30
応仁の乱を考える	呉座 勇一(国際日本文化研究センター助教)	八丁堀校	2019年11月30日(土) 17:00～18:30

■ 村上 晃一氏



大阪体育大学卒。90年6月より97年2月までラグビーマガジン編集長。98年独立。ラグビーマガジン、ナンバー(文藝春秋)などに寄稿。J SPORTSのラグビー解説も98年より継続中。著書に「ハルのゆく道」(道友社)、「ラグビーが教えてくれること」(あかね書房)などがある。

■ 清宮 克幸氏



一般社団法人アザレアスポーツクラブ 代表理事、株式会社ビーフラット 代表取締役NPO法人WASEDA CLUB 専務理事。ラグビー選手として早稲田大学や社会人リーグで活躍した後、早稲田大学ラグビー蹴球部、サントリーラグビー部の監督を歴任。その独自の指導法で数々の好成績を収め、人材育成と組織強化の手法はスポーツ界だけに留まらず、ビジネス界からも注目される。2011～2019年1月までヤマハ発動機ジュビロ監督。好きな言葉は「有言実行」。著書に『究極の勝利』(講談社)がある。

ラグビーワールドカップ
2019日本大会の展望

9月20日に開催の「ラグビーワールドカップ2019日本大会」を目前にお招きしたのは、早稲田大学ラグビー蹴球部元監督で、ラグビートップリーグヤマハ発動機ジュビロ前監督の清宮克幸氏とラグビージャーナリストの村上晃一氏。早稲田大学ラグビー蹴球部のお話を中心に対談は進み、ラグビー

サタデー レクチャー ～早稲田の杜の教養シリーズ～

早稲田大学エクステンションセンターでは、注目の研究者や専門家をお招きし、様々なテーマを取り上げる「サタデーレクチャー～早稲田の杜の教養シリーズ」を2018度秋学期より継続して開催することになりました。今回は2019年5月、7月、10月に行われた3つの講演の模様を抜粋してご紹介します。

の魅力やWCのまどころについてもお話しいただきました。

清宮氏 大学では「練習前練習」、「練習後練習」があつて、本当にキツかったですね(笑)。部員の半分は浪人が入ってきているため、弱いチームを強くする独自の理論がありました。たとえば、ゴールラインのこ

だわりとして、スクラムを組んで、フ兰卡1背番号6番、7番や僕が務めたナンバー8の走るコース取りを指導されるのが、早稲田ならではの指導。なぜナンバー8に任せるかといえば、タックルポイントやディフェンスラインを一步でも前に持っていきたいから。力が弱い者がいかに勝つかという戦略でした。

やがて4年生になり、キャプテンとなつた清宮氏は、「違うスタイルのラグビーにもチャレンジしてみたい」とOB会で相談し、ショートライン戦法を取り入れることに。結果、全国大学選手権で日本一の栄光に輝きました。

清宮氏 最後の1年間だけはそれまでの早稲田とはまったく違うラグビーをしていたと思います。そういう意味で、僕は早稲田の伝統のラグビーを破壊したかもしれませ

んね。でも、早大ラグビー蹴球部にとって大事なものは、自分たちのラグビーを定義しながら、チャレンジし、突き詰めることだと思ふんです。

村上氏 僕は当時の快進撃を見ていた世代なので、清宮さんの4年生のときの貫禄はすごいなと思いましたね。

その後、清宮氏と村上氏の話題は早大ラグビー蹴球部大西監督の逸話へ。最後はWCでの日本代表の活躍についてお二人による試合の予想が展開され、場内は最後まで熱い盛り上がりのまま、講座は幕を閉じました。

明智光秀の謎に迫る

静岡大学名誉教授の小和田哲男氏が、明智光秀の前半生の謎、光秀が織田信長に抜擢された理由や働き、「本能寺の変」の真相について、最新の研究成果などを紹介しながら明らかにしていきます。

「明智光秀は、戦国時代を描いたドラマにはよく登場しますが、本能寺の変を起したことから、どうしても主殺しの悪人のイメージもつきまといまふ。また、光秀の前

半生については史料があまりなく、謎だらけです。」

有名な桶狭間の戦いの3年後になる1563年の「永祿六年諸役人附」に、明智が足輕衆として登場します。この明智は光秀のことだろうと小和田氏は推測しています。「足輕には雑兵というイメージがありますが、ここでは室町幕府に仕える役人です。史料の後半では、15代將軍になる足利義昭に仕えていたとも記載されていて、朝倉義景に仕えていたことはあり得ると思います。光秀が義昭と信長の橋渡しをしたことは、確かだろうと思います」と話し、朝倉義景が頼りにならないので、細川藤孝と相談して、当時、日の出の勢いで上洛を目指していた信長に乗り換え、信長も渡りに船と心じたのではないかと推測しています。

光秀の名前が確かな文書に登場するのは、本圀寺の変があった1569年(永祿12年)4月14日付の「賀茂莊中宛の木下秀吉との連署状」が初めてです。当時、光秀は京都奉行を務めていて、義昭と信長の関係も良好でしたが、やがて義昭は、將軍としての実権のない傀儡であることに気づき、信長との間に亀裂が生じます。そうなると、困るのは両属の光秀で、ついには義昭と袂を分かつこととなります。

その後、信長に仕えることになり、越前攻めを始めとして数々の戦に参加し功績を挙げます。比叡山焼き討ちのあった年の暮れに、光秀は比叡山監視のために坂本城築城を信長から命じられ、城主になるとともに周辺の土地を与えられます。「信長の家臣

で初めて『一国一城の主』になったわけですから」と小和田氏。信長の言葉として「丹波国日向守働き、天下の面目をほどこし候」と取り上げられます。「当時、信長の家臣団の中で光秀の評価はトップでした」と小和田氏は言い、その証拠として「京都馬揃え」の総括責任者に指名されたことをあげています。

信長の評価が高かった光秀は、なぜ本能寺の変を引き起したのでしょうか。「様々な説がありますが、光秀にとつて残念だったのは、信長の首を見つめることができなかったことです。首をさらすことができれば、謀反は成功していたでしょうし、山崎の戦いで秀吉に負けることもなかったと思います」と小和田氏。本能寺の変の真相をはじめ、明智光秀は謎の多い人物で、来年に向けてさまざま本が出版されるだろうから、それらも含めて大河ドラマを楽しんでほしいと呼びかけ、講演会を締めくくりました。

■ 小和田 哲男氏



1944年静岡市生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士。2009年まで静岡大学教育学部教授。公益財団法人日本城郭協会理事長。専門は日本中世史、特に戦国史。著書に『小和田哲男著作集』(全7巻)、『近江浅井氏の研究』、『戦国三姉妹—茶々・初・江の数奇な生涯—』『明智光秀・秀満』などがある。

アマゾンの戦略とアマゾン & GAFAのテクノロジーと組織を読む

1994年にジェフ・ベゾス氏によって設立されたアマゾン。2019年10月時点で従業員数はおよそ64万人。2018年度

の売上高は約25兆円となっています。

「小売業界では、『アマゾンの巨大化によって中小規模の小売業者は経営破綻する』との見方が強まっていますが、私はこの見方に疑問を抱いています。なぜなら、約25兆円という売上高は、他の大企業に比べるととても小さく、実はアマゾンは儲かっていないことがわかるからです」。

しかし、アマゾンの場合、売上高は小さいにも関わらず時価総額はトップクラス。これには理由があるそうです。「長年にわたるアマゾンの投資キャッシュフローにはマインスの値がついています。ここから、アマゾンが毎年、何かしらのプロジェクトや設備に投資をしていたことがわかります。また、投資キャッシュフローの値が大きいことから、株式市場では成長余地があると判断され、高い株価がついたと考えられます。株主への配当こそ時価総額を形成する最良の方法との考え方がありますが、配当を行なっている企業の株価には大きな変化が見られません。配当の有無に関係なく成長力のある企業が株価を上げるのははや常識でしょう」。

配当にこだわらず投資キャッシュフローの値を上げることは、株価形成だけでなく経営においても要といえるようです。「アマゾンが大きく成長したのは、彼らの技術力や経営に対する思想が優れているからではありません。売上高の拡大や株主への配当を重視せず、投資によって最新設備を導入し、シェア獲得へとつなげたからです」。

投資によって多くの事業を展開し、業界

シェアを獲得するアマゾン。その動向に注目すると、ある特徴に気がつくようです。

「多種多様な事業を展開し、好ましい結果が得られた事業には多額の投資をします。反対に結果が思わしくなかった事業からは即座に手を引くというのがアマゾンのスタイルです」。

ベゾス氏とアマゾンが成し遂げた偉業にはまさに驚くばかり。現在、日本国内ではアマゾンのような革新的な企業は見受けられないものの、今後、飛躍的に成長する可能性がある事業が多々見受けられるようです。こうした事業を成功へ導く秘訣について、成毛氏はこう語ります。「まずは株式市場に対する価値観を変えるべきでしょう。どんどん投資をし、他社との差別化やコスト削減をはかるのが賢明です」。

設立後20年ほどで世界最強のネット企業へと成長したアマゾン。創業者のジェフ・ベゾス氏、ひいてはアマゾンの経営にはたしかに成功法則があることがわかりました。多くのビジネスマンにとって参考になる内容が多分に盛り込まれた講演となりました。

■ 成毛 眞氏



1955年生まれ。1986年マイクロソフト株式会社に入社。1991年同社社長に就任。2000年に退社後、投資コンサルティング会社「株式会社インスパイア」を設立。2011年書評サイトHONZを開設。元早稲田大学ビジネススクール客員教授。著書に「amazon 世界最先端の戦略がわかる」(ダイヤモンド社)、『俺たちの定年後 — 成毛流60歳からの生き方指南』(ワニブックス)など多数。

2019年度 / はじめまして講座

2019年度からはじまったさまざまな講座・セミナーのご紹介です。2020年度も開講を予定しています。

無料体験セミナー

『人財育成という社会貢献』×『誰でもできるICT』でキャリアプラン

次代を支える子供たちを“グローバル・ICT人財”に育てる指導者養成講座 体験セミナー

世界のこれからの貢献できる人財育成に関心をお持ちの方や、人の育成を通じて自らも学び、成長されたいとお考えの方を対象に2019年8月の2日間にわたり開催し、100名を超える方に参加をいただきました。2020年度は通常の講座として開講を予定しています。

「学びたい」に応えます

社会人のための必修教養講座

忙しい毎日の中でも「学び」をあきらめない社会人の方に受講いただけるよう、平日夜・土曜日に開講されます。2019年度は文学、歴史、芸術はじめ多くのジャンルにおいて全35講座が実施されました。受講を通じ、大人だからできる「学び」と出会ってください。

八丁堀校・中野校

中学校入学前に英語を鍛える

Waseda Kids English

小学生を対象に、日本語を介さず「聞く・話す・読む・書く」の四技能を学習できます。講師はハーバード大学教授のI・A・リチャーズが開発した、英語を母語としない人のための英語教授法を取り入れ、中学入学後に英語が得意科目となるよう、子供たちの指導にあたります。

中野校

シリーズ講座

2020年 東京オリンピック、パラリンピックを楽しむ

目前に迫った正規の大イベントをより楽しみたい方におすすめの講座です。各競技のオリンピック、パラリンピアン、コーチをはじめ、報道関係者、企業のスポンサーシップ担当者などを講師に招き、様々な視座を提供します。

早稲田校

Information

悪天候による休講時は……

雪、台風等の悪天候による全学休講は個別連絡をいたしません。

休講とする場合はホームページでご案内いたします。お出かけの際にご確認ください。

センターホームページ: <https://www1.ex-waseda.jp/guide/classes.html>



※「早稲田大学緊急用お知らせサイト」の利用は終了しました。

急な休講が発生した場合は……

携帯電話のショートメッセージサービス(SMS)を利用して休講のご連絡をいたします。迅速に休講情報をお受け取りできますので、ご登録がお済みでない方は、以下の方法にてぜひご登録ください。

登録方法(会員の方)

- ①当センターホームページからMyPageにログイン
- ②「会員情報変更」をクリック
- ③画面下部の携帯番号欄に電話番号を入力
- ④最下部の「更新する」ボタンをクリック

※各校事務窓口でも登録可能です。

※携帯番号をご登録されていない方には、これまで通りお電話にてご連絡させていただきます。

会員先行申込の場合は……

会員先行申込の開始後、当センターホームページトップ画面内にピンク色のバナーが表示されます。バナー内の青い文字「こちらからログイン後」をクリックしてください。



「こちらからログイン後」をクリック

「早稲田の杜」は当センターホームページでもご覧いただけます。 www.wuext.waseda.jp

早大 エクステンション

検索



EXT

早稲田大学
エクステンションセンター

発行

早稲田大学エクステンションセンター

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

TEL:03-3208-2248 FAX:03-3205-0559 e-mail: wuext@list.waseda.jp